

令和5年度「指導と評価の年間計画」(シラバス)

教科	科目	開設学年(年次)	単位数	教科書名	副教材
国語	文学国語	2	2	高等学校 文学国語(第一学習社)	・カラー版新国語便覧(第一学習社)

到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
評価の観点	<p>【a. 知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。</p> <p>【b. 思考・判断・表現】 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【c. 主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。</p>

月	考查	教材名	学習内容	時数	評価方法
4	学期末 考查 中間 考查	小説「山月記」	表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味をふまえて作品の主題を考える。	10	授業態度 発問評価 指名音読 提出物 小テスト 定期考查
5		小説「檸檬」	「私」の心の動きを作品中の表現に基づいてたどり、「檸檬」が「私」に及ぼした影響を捉える。	7	
6		詩「小諸なる古城のほとり」、 「永訣の朝」	・文語定型詩の構成やリズムに親しみ、情景にこめられた心情を理解する。 ・自然の描かれ方に着目し、「いもうと」「わたくし」それぞれの心情を想像しながら味わう。	6	
6・8	中間 学期 考查	小説「旅する本」	本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。	5	
9		随想「花のいざない」	日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解する。	5	
9	二 学期 末 考查	随想「真珠の耳飾りの少女」	フェルメールの絵画を紹介する文章を読み、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。	5	
9・10		小説「こころ」	物語の展開と出来事を整理しながら、登場人物それぞれの心情を掴む。	11	
		小説「葉桜と魔笛」	小説の展開において、「私」の語りの特徴がもたらしている効果を把握しながら読む。	6	
11・12	学 年 末 考 査	詩「わたしが一番きれいだったとき」	詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題について考える。	2	
1		小説「バグダッドの靴磨き」	登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、「僕」の発言の背景にあるものを理解する。	7	
1・2		詩「死んだ男の残したものは」	ベトナムの平和を願う反戦詩として書かれた背景を踏まえ、作品に託された思いを読み取る。	3	
2・3		詩「春—イラクの少女シャミラに」	対比的に配置された詩の構造を理解し、新たな時代の戦争を描いた表現上の工夫を読み取る。	3	